



横浜市立本町小学校 学校運営協議会【記録】

本町小学校学校運営協議会だより

令和6年度 横浜市立本町小学校 第4回学校運営協議会 が開催されました

➤ 学校ホームページ等での公開版では、個人名の表記をいたしません。

1. 日時 令和7年2月28日(金) 16:30~18:00
2. 場所 本町小学校 第2音楽室
3. 参加者 学校運営協議会委員 12名 本校職員 4名

4. 内容

(1)開会挨拶

(2)学校長挨拶

- ・本校の取り組みについて忌憚のないご意見をいただきたい。
- ・卒業式については、学校運営協議会の皆様のみのご招待とさせていただきます。(会場の関係)
- ・今年は120周年イヤーとして取り組んできました。式典、祝う会、祝賀会などを実施し、改めて本町小が皆さんに支えられていることを感じた。
- ・いじめの未然防止、対応については「感度を高く」「職員間で協力」を意識して取り組んでいる。
- ・「学校が楽しい」と子ども達に来てもらいたいと思っている。
そのための授業改善には、今後も力を入れていきたい。
今年度は、全学年発表の公開授業研究会を行なった。そのために授業研究に力を入れてきた。
- ・環境改善として、全館LED電球に変更した。
- ・はまっこ防災トイレと鉄棒が重なってしまうという問題については、今年度中に鉄棒の移植工事が始まる。
重ねて、露出したマンホールについても申請している。(安全のため)
- ・長年、あたたかくご支援いただいた、高坂委員がご逝去された。長年にわたる多大なご支援に感謝を申し上げます、謹んでお悔やみを申し上げます。
- ・後任の委員には、老松地区の方をお願いしたいと考えている。
- ・運営協議会委員の来年度の委嘱については、できたら皆様に継続してほしいと思っている。もしご事情等で続けられない場合はぜひ、後任の方を推薦してほしい。

(3)120周年事業報告

- ・今年度の取り組みを紹介
創立記念式、航空写真、横断幕、バンダナ、クラウドファンディング
本町フェスティバル(教育奨励会主催)、NEW本町120パーティー、お祝い給食
記念誌、記念品(クリアファイル、SDGsエコバック、お菓子)

(4) 学校評価アンケートの結果と学校の取り組みについて

- 児童のアンケートの設問、「学校は楽しい」については 8%、「授業がわかる」などの項目に 9%の児童が否定的な回答をしている。この少数の意見を大切に対応していきたい。
- 読書、運動についても様々な取り組みをしたい。
- 保護者アンケートにもほとんどの項目で高い評価をいただいた。
- 問8「学校は、子どもの様子を把握し、丁寧な指導や分かりやすい授業をするように努めている」、問9「学校は、子どもの相談や悩み事について、適切に対応している」の回答が、「わからない」の人が多い。学校の取り組みが浸透していない
→HP、すぐーるで発信していく。
- 運営協議会からも温かい言葉、励ましの言葉がありがたかった。

(5) 児童支援の取り組みについて

- いじめ未然防止の早期発見の取り組み
→アンケート、スタナビ、教育相談を実施している。いじめ防止対策委員会で、学年から早く吸い上げるようにしている。
- 横浜こども会議に参加
→運営委員会の児童が参加。中学校ブロックの中で積極的に意見を言っていた。
話し合ったことは、学校の人権の取り組みに生かした。
- 人権についての啓発
→道徳推進教諭が中心となり、人権啓発の掲示物を整えた。
- 特別支援教育
→低学年サポートを充実したり、国際教室、学習室で個に応じた支援を行ったりしてきた。

(6) 重点研究について

- 学校教育目標の達成のためにテーマを決めて取り組んできた。
- 自分自身、仲間、本物が響き合うように学習を進めた。
- 自ら学ぶ姿については、今年度は「振り返り」というサブテーマをもとにして、研究をしてきた。
- 12月14日には、公開授業研を行った。
- 各学年の取り組みを紹介

(7) 委員の皆様による学校評価 職員退室、委員のみで協議

- 120周年に対する想いが強い、モチベーションが下がる言葉がけはしないしてほしい。
- 120周年の発表会、セレモニーとても良かった。
- 発表会に参加したが、とても子どもたちが笑顔で楽しそうだった。
- 120周年を経験して大変だっただろうが、今後に生かせると思う。
- 今回、120周年に向けて、PTAのプレゼントとして先生方にお渡しした。
- いじめの未然防止、自信をもっているのが伝わる。
- 場面によって子どもの姿が違うので、キッズと学校での情報共有大切。
- どの家庭でも子育ては大変。互いを尊重し合うことは大切だが、良い悪いの判断は、親にしっかりと見てほしい。
- アンケートで「分からない」と答えた家庭に声をかけていけるとよい。
- 保護者が協力できることはないか。
- 保護者は学校に要望を言い過ぎではないか。本来の業務を減らしてしまうことを危惧する。
- コロナ禍でなくなって、登校や給食の状況を知りたい。
- 「楽しい」「授業がわかりやすい」がとても高い。このことを教師はどのように判断しているのか知りたい。進級判定、卒業判定をやっているが、中学でも子どもたちの思いを大切にして関わっている。
- 先生が子ども達にいろいろとしてあげているが、子どもたちがやってもらって当たり前になっていないか。転んだ時に立ち上がれない子を作っていないか。
- 学校は何でもやりすぎと感じる。
- 学校間で仲がよく、情報共有があった。学校評価は経年評価があると分かりやすい。職員の負担をどのように軽減したらよいか。

- ・よりよいものを求めているのが教育。ただ、時間を区切って行わなければならない。学習指導要領に即して、やることを整理していく必要がある。
- ・多様化している子への対応が今後欠かせない。総合の授業の工夫、チーム学年経営など。

各委員から、地域やPTAを中心に非常に愛のある意見をいただいた。非常に良いサポートをしていただいていると感じた。

(8) 事務連絡

- ・来年度の予定について

- 第1回 令和7年 5月10日(土) 委員委属、運営方針説明等
- 第2回 令和7年 9月12日(金) 校内授業研究会を参観
- 第3回 令和7年10月24日(金) 教職員との懇談
- 第4回 令和8年 2月27日(金) 意見交換、学校評価

- ・卒業式について

- 令和7年3月19日(水)

(9) 閉会挨拶(副校長)